



	<p><b>【収束的思考】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT 機器で録画・録音し、客観的に自分たちの演奏を振り返る。</li> <li>伝えられたアドバイスや録音した音源を基に「表現のめあて」を決定する。【収M】</li> </ul>	方法	/	活動の様子 学習プリントの記述		
11	<p><b>【ふりかえる場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表会をする。</li> <li>他のグループの演奏を鑑賞する。</li> <li>題材を通して学んだことを振り返る。</li> </ul> <p>【拡・収RM】</p>	A	「旋律」と「強弱」の働きを生かした音楽表現をするために必要な十分な技能を身に付けている。	/		
B	「旋律」、もしくは「強弱」の働きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。					
方法	発表 学習プリントの記述					



7	<b>【ふりかえる場】</b> ・発表会をする。 ・他のグループの演奏を鑑賞する。 ・題材を通して学んだことを振り返る。 <b>【拡・収RM】</b>	A	「構成」と「音色」の働きを生かした音楽表現をするために必要な十分な技能を身に付けている。	/		
		B	「構成」、もしくは「音色」の働きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。			
		方法	創作作品, 発表 学習プリントの記述			

< 題材計画表 >

時	学習内容	評価				
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
題材名	<p><b>形式に着目し、曲想の変化が感じられる表現方法を考えよう</b></p> <p>&lt;12時間完了&gt;</p> <p>「ブルタバ」(鑑賞)</p> <p>「帰れソレントへ」(表現：歌唱)</p> <p>「上を向いて歩こう」(表現：創作)</p>	目標	<p><b>知</b> 曲想の変化と、音楽の構造との関わりを理解する。</p> <p>音楽を形づくっている要素の働きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p><b>思</b> 「形式」と、他の音楽を形づくっている要素との関わりを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、試行錯誤しながらどのように音楽で表現するかについて考え、思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりする。</p> <p><b>態</b> 各場面の曲想の変化と「形式」と他の音楽を形づくっている要素との関わりに関心をもち、表現の工夫を試行錯誤したり、振り返ったりしながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>			
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5	<p><b>【つかむ場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題を知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <p>「形式」に着目し、曲想の変化が感じられる表現方法を考えよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題を達成するための「試行錯誤するポイント」を知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <p>形式</p> </div> <p><b>【拡散的思考】</b></p> <p>『ブルタバ』第1時限</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ブルタバ」を鑑賞し、標題ごとに変化する音楽の要素の働きと、それらによって生み出される曲想の変化を捉える。</li> <li>捉えたことを全体でプレゼンテーションする。</li> <li>創作に向けての思いや意図を個人で想起し、「試行錯誤するポイント」に関して、今後生かせそうなことを記録する。</li> </ul> <p>『帰れソレントへ』第2・3時限</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「帰れソレントへ」の音取りをしながら、場面ごとの曲想の変化をつかむ。</li> <li>曲中に現れる同主調への転調と、それらによって生み出される曲想の変化を捉える。</li> <li>カンツォーネについて知る。</li> <li>カンツォーネ特有の曲想と音楽の構造との関連、また強い思いを表現する歌詞との関連を捉える。</li> <li>「試行錯誤するポイント」に関して、今後生かせそうなことを記録する。</li> </ul> <p>『上を向いて歩こう』第4・5時限</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アルトリコーダーで主旋律を吹き、形式の働きによる曲想の変化を捉える。</li> <li>ジャズ、ボサノバ、ロック調にアレンジされた「上を向いて歩こう」を鑑賞し、ジャンルごとに、形式の働きにより曲想がどのように変化するかを捉える。</li> <li>捉えたことを全体でプレゼンテーションする。</li> <li>今後「上を向いて歩こう」をアレンジするにあたり、「形式」と他の音楽を形づくっている要素の働きを生かして、どのような音楽を表現したいのか思いや意図をもち、「表現のめあて」を設定する。</li> <li>「試行錯誤するポイント」が生かされた「表現のめあて」になっているか振り返る。【拡M①】</li> </ul>	A	<p>曲想の変化と、音楽の構造との関わりを十分に理解している。</p>	<p>「形式」と、他の音楽を形づくっている要素との関わりを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら聴いている。</p>	A	<p>各場面の曲想の変化と、「形式」と他の音楽を形づくっている要素との関わりに関心をもち、グループで表現をより高められるよう、試行錯誤をしたり、振り返ったりしながら取り組もうとしている。</p>
	方法	<p>曲想の変化を理解している。あるいは、各場面の音楽の構造を理解している。</p>	<p>「形式」について知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら聴いている。もしくは、もしくは他の音楽を形づくっている要素の働きを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら聴いている。</p>	B		<p>各場面の曲想の変化と、「形式」と他の音楽を形づくっている要素との関わりに関心をもち、他者からの助言を参考に、自己の表現を試行錯誤しながら取り組もうとしている。</p>
	<p><b>【つくる場】</b></p> <p><b>【拡散的思考】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「上を向いて歩こう」の「形式」と他の音楽を形づくっている要素との働きがより生かされる表現方法を考え、アレンジをする。</li> </ul>	A	/	<p>「形式」と、他の音楽を形づくっている要素の働きを試行錯誤しながら、どのように音楽で表現するかについて、明確な思いや意図をもっている。</p>		

